



MOHICAN 生産完了

CD Player



HEGEL 社は、1997 年に創設されました。社名のヘーゲルは、著名なドイツの哲学者ヘーゲルに由来しています。

ヘーゲルの求めるサウンドは、アコースティック楽器を最も自然な音で再生することです。透明感や微細なディテール表現、抑揚感、臨場感あふれる描写力を追求しています。

その為、半導体物理学の豊富な経験から実際の音楽信号再生におけるトランジスターの動作を最適化させ、オリジナル音楽の忠実な再生を追い求めています。

- 数年に渡る、CD 再生専用機開発の議論の末、HEGEL 最新の CD プレーヤー "MOHICAN (モヒカン)" は誕生しました。"MOHICAN (モヒカン)" は、1997 年発表の HEGEL 最初の CD プレーヤーから学び続けてきた全てを注ぎ込んで開発されました。"MOHICAN (モヒカン)" の名前の由来は、同名の映画化もされた小説「The Last of the Mohicans」(モヒカン族の最後) に由来し、HEGEL にとって最後の CD プレーヤーを意味します。
- 自らの膨大な音楽ライブラリーから、CD 再生に重点を置くオーディオファイルのために、音質を最優先に位置づけ CD 再生のみに特化しています。多彩なデジタルフォーマットに対応するデジタル入力やストリーミング対応のネットワーク端子やヘッドフォン出力端子等を全て排除し 16bit/44.1kHz の CD からの情報を何一つ余すところなく取り出します。
- 最新の DAC チップ AKM4490 を搭載し、16bit/44.1kHz のネイティブ解像度でアップサンプリングせずに使用。
- 独自カスタムのサンヨー製 CD オーディオ・ドライブメカ採用 (CD ROM ドライブとは異なります)。
- オリジナルのサーボ回路搭載し正確な読み取り精度を実現。
- 75 オーム BNC デジタル出力搭載。
- リアルタイムの歪み検出・除去を可能にした、特許技術 SoundEngine (サウンドエンジン) を、デジタルステージに使用し位相ノイズ (ジッター) を測定可能レベル以下に減少。
- アナログステージは、リファレンス DAC HD30 と同構成で、電源部にも同様の超低ノイズパワーサプライを採用しています。
- アナログ出力 (バランス x1 系統、アンバランス x1 系統)
- フロントパネルは緩やかな HEGEL 曲線に切削された無垢のアルミニウムの表面に微小なガラスビーズによるショットピーニングプラストを施し表面硬度を上げ、独特の美しい風合いを持つブラックアノダイズ仕上げです。

製品仕様

| | | | |
|-------------|----------------------------------|--------|--------------------------------|
| ■ DAC 解像度 | 16bit / 44.1kHz | ■外形寸法: | 430mm(W) x 100mm(H) x 290mm(D) |
| ■出力シグナルレベル: | 2.6V RMS (at 0dBFS) | ■重量: | 6.5kg |
| ■アナログ出力: | RCA アンバランス 1 系統 XLR バランス 1 系統 | ■カラー: | ブラック、シルバー |
| ■デジタル出力: | 75ohm BNC1 系統 | ■備考: | リモコン付属 |
| ■周波数特性: | 0Hz ~ 50kHz | ■価格: | 550,000 円 (税込) |
| ■ノイズフロアー: | -145dB | | |
| ■出力インピーダンス: | 22ohm (アンバランス)、44ohm (バランス) | | |
| ■歪率: | 0.0015% 以下 | | |



*ここに記載の内容は改良等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。